

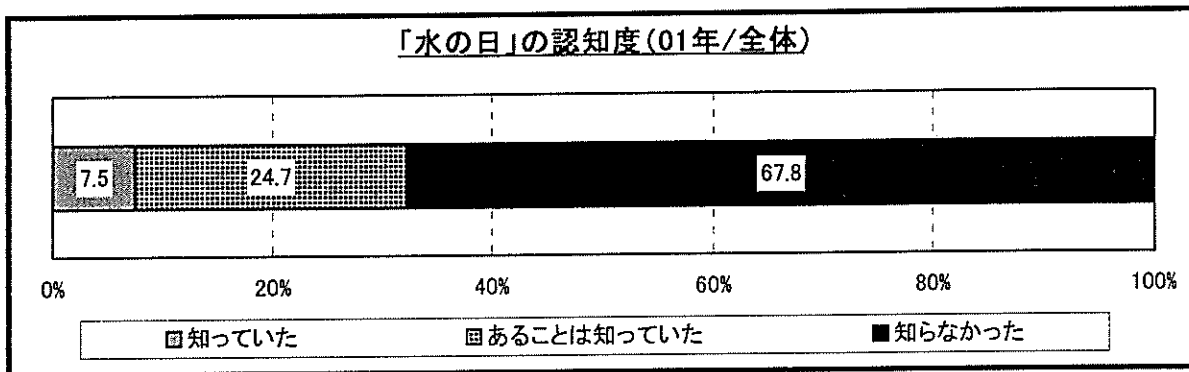
# 水に関わる環境意識

## Q. 8月1日が「水の日」ということを知っていましたか？ (3択)

◇『知っていた』はわずか 7.5%、7 割弱が「水の日」があることさえ『知らなかった』

「水の日」は、限りある資源を大切にしようという趣旨で、1957 年に国土庁（現・国土交通省）が設けた日です。8 月は 1 年中でもっとも水の使用量が多い月ということで、8 月 1 日を「水の日」、8 月の第 1 週を「水の週間」として節水を呼びかけたり、関連イベントが開かれたりしています。

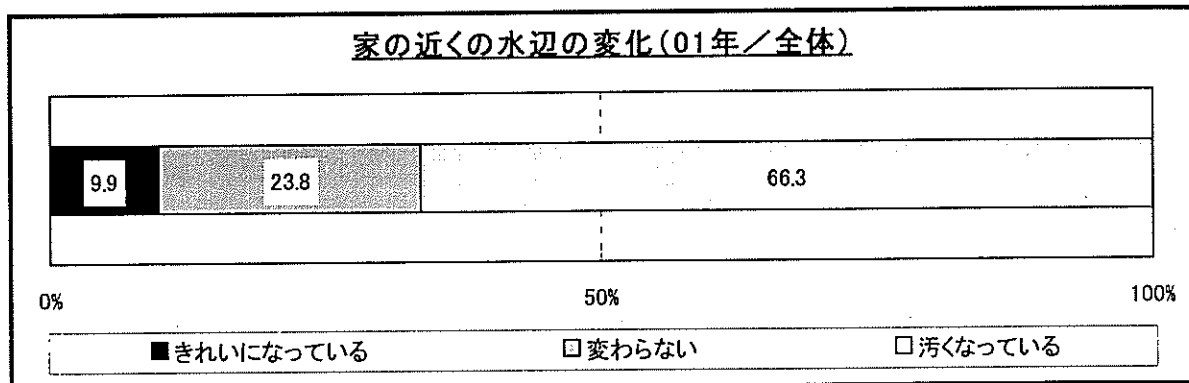
その認知度を聞いてみましたが、全体の 67.8%が「水の日」があることさえ『知らなかった』と回答。行政からの節水の呼びかけが広く行き渡っているとはいえない状況といえます。「水の日」が祝日でないことも影響しているのでしょうか。



## Q. あなたの家の近くの水辺環境の変化は？ (3択)

◇『きれいになっている』は 10%弱に止まる

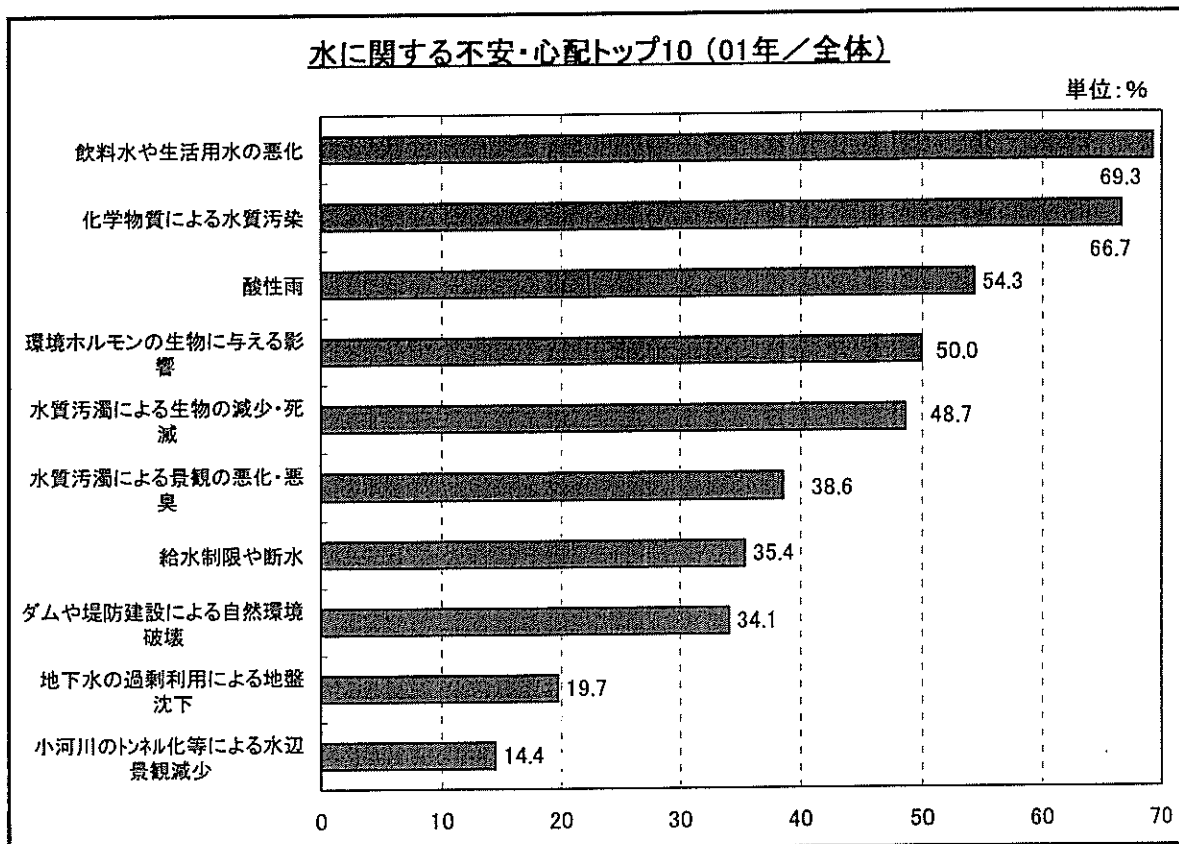
家の近くの水辺の変化について聞きました。結果は『汚くなっている』が 66.3%と圧倒的に多く、『きれいになっている』は 9.9%に止まりました。



## Q. 水に関して日頃不安や心配を感じていることは？ (13択／複数回答)

◇トップ3は『飲料水や生活用水の悪化』『化学物質による水質汚染』『酸性雨』

水に関して不安を感じていることのトップは『飲料水や生活用水の悪化』(69.3%)でした。以下『化学物質による水質汚染』(66.7%)、『酸性雨』(54.3%)、『環境ホルモンの生物に与える影響』(50.0%)などと続きました。

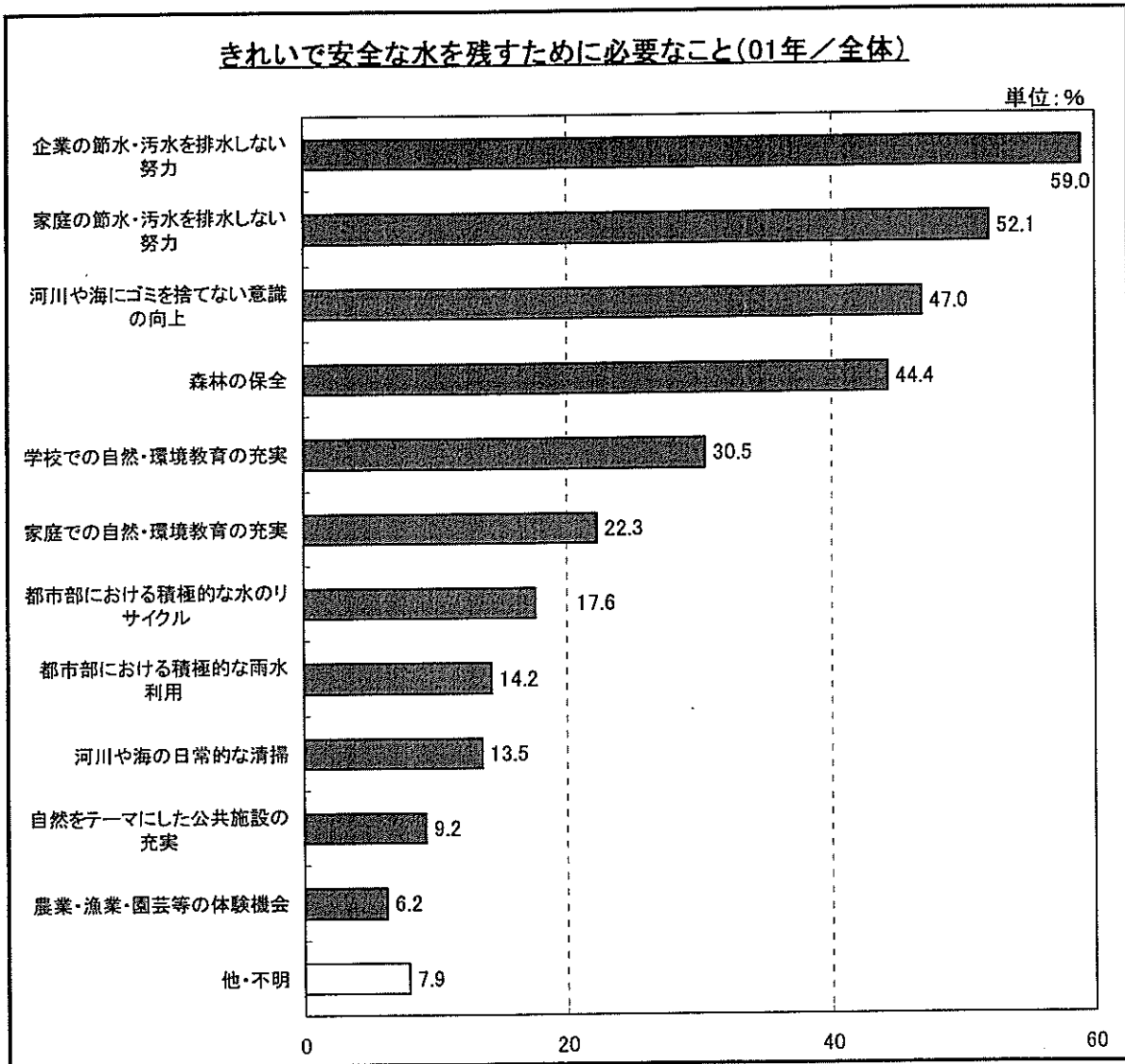


**Q.きれいで安全な水を残すために必要なことは？(11択+その他/3つまで回答)**

◇『企業・家庭の汚水を排水しない努力』が上位に

全体の1位は昨年と同様『企業の汚水を排水しない努力』(59.0%)でした。以下、『家庭の汚水を排水しない努力』(52.1%)、『河川や海にゴミを捨てない意識の向上』(47.0%)と続きました。

都市生活者は、とにかく“汚さない”(汚水を排水しない、ゴミを捨てない)という努力や意識の向上を、最重要と認識しているといえます。

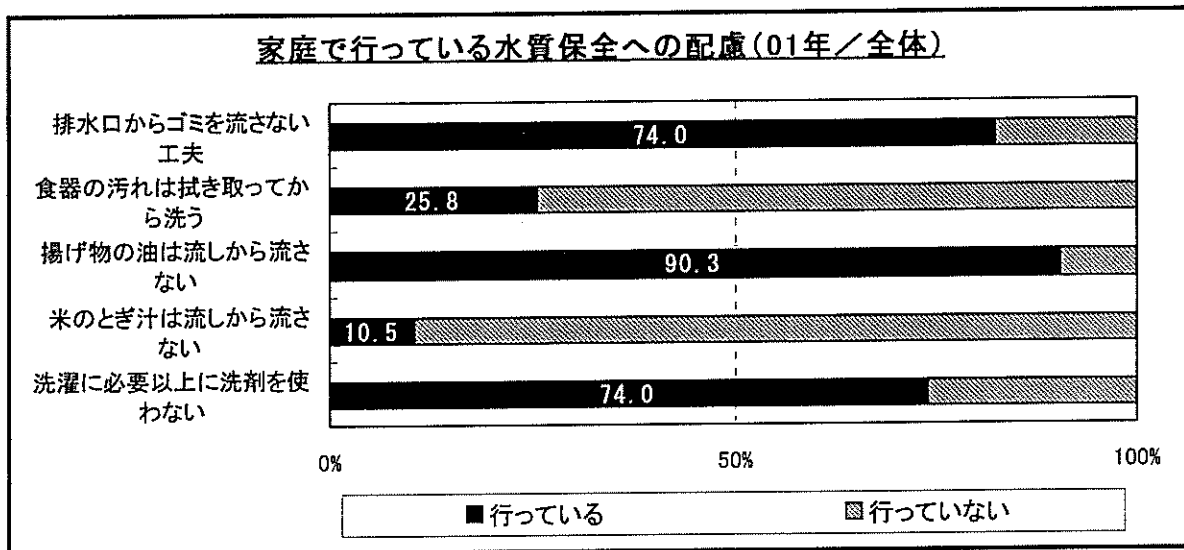


## Q. あなたの家庭で行っている水質保全への配慮は？

◇『揚げ物の油は流しから流さない』は9割以上の実施率

「流しは海への入り口」と言いますが、排水口から『油を流さない』（90.3%）、『ゴミを流さない』（74.0%）は比較的高い実施率でした。一方、海や湖の富栄養化の原因になるという説のある『米のとぎ汁』については、『流さない』ようにしているのは1割程度に止まりました。また洗剤や水の節約にもつながる『食器の汚れを拭き取ってから洗う』も25.8%に止まりました。

水質保全意識はあるものの、あまり手間はかけたくないということでしょう

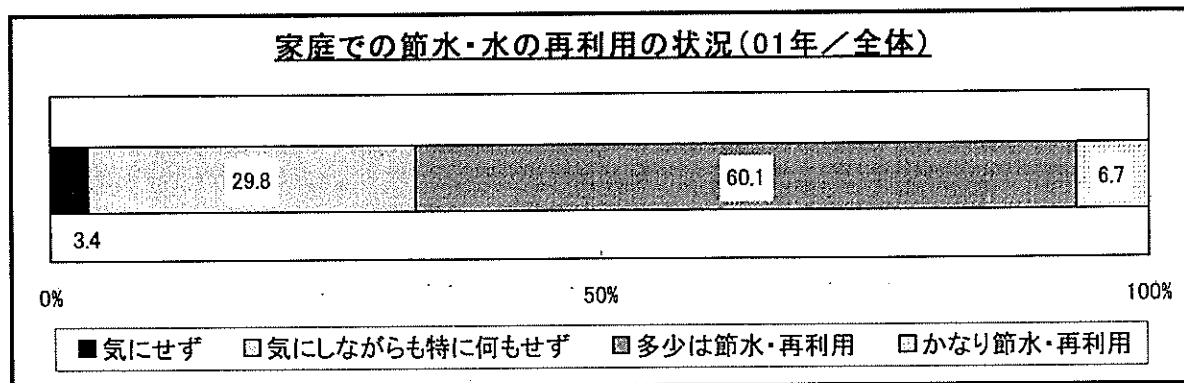


## Q. あなたの家庭では節水や水の使いまわしをしていますか？（4択）

◇7割弱が『かなり』あるいは『多少は』節水・水の再利用を行っている

家庭における節水や水の使いまわし（再利用）について聞きました。

その結果、66.8%が『かなり節水・再利用している』あるいは『多少は節水・再利用している』と回答しました。

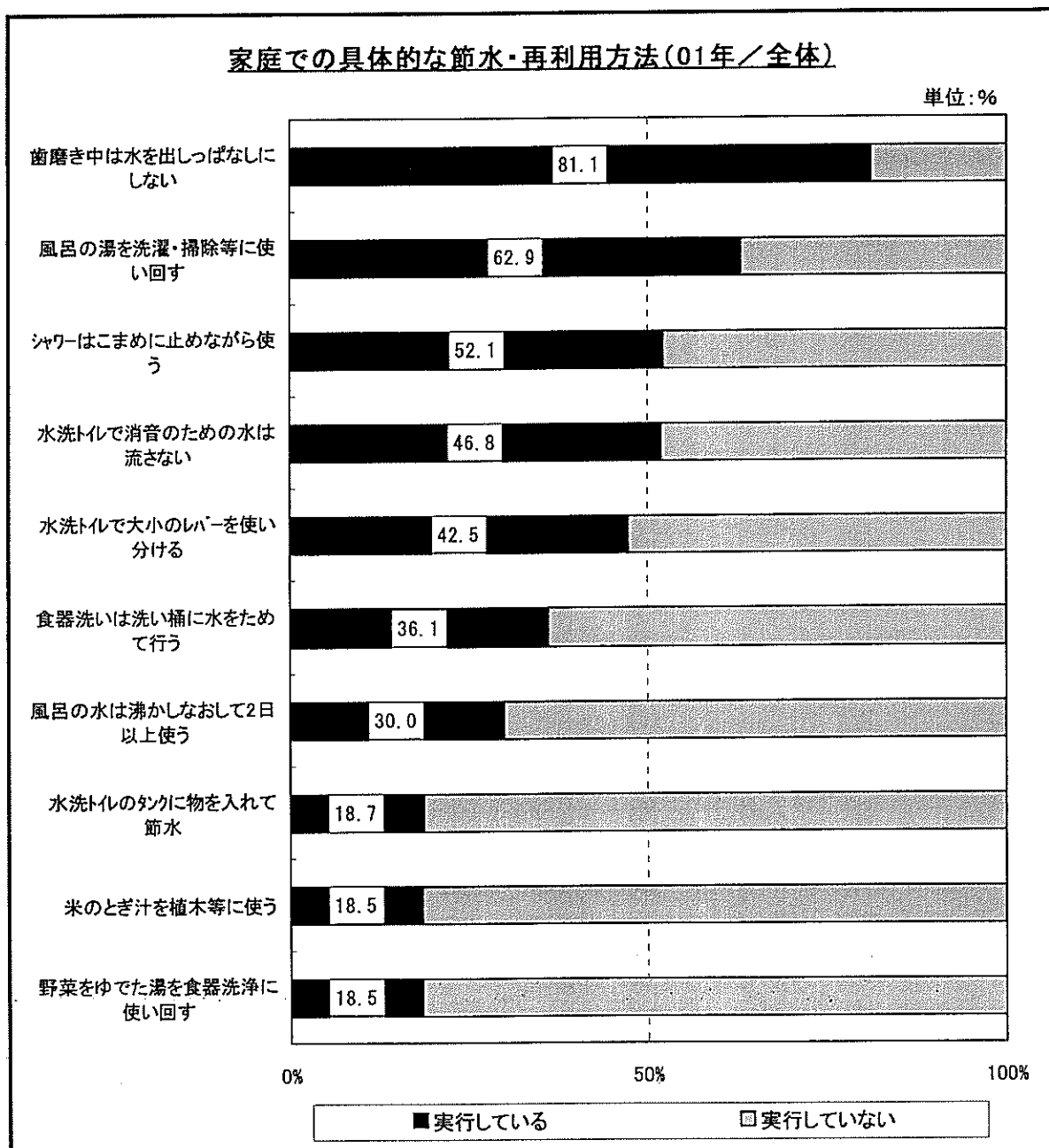


## Q. 具体的な節水・水の使いまわしの方法は？

◇『歯磨き中は水を出しっぱなしにしない』は8割以上が実施

前問に関連して、節水や水の再利用につながる10項目について、家庭での実施の有無を聞きました。

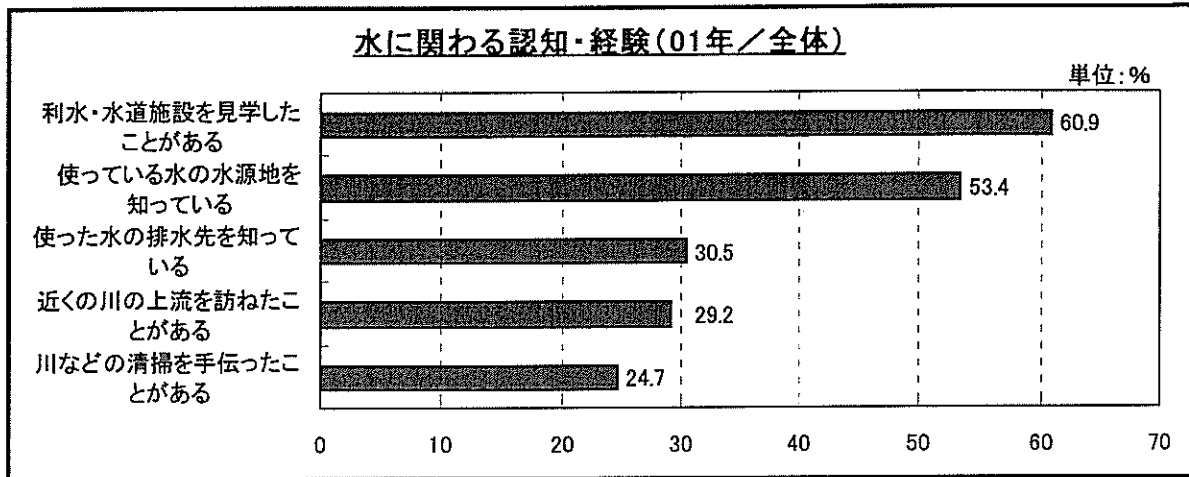
もっとも実施率が高かったのは『歯磨き中は水を出しっぱなしにしない』で81.1%、『風呂の湯を洗濯や掃除などに使いまわす』(62.9%)、『シャワーはこまめに止めながら使う』(52.1%)も過半数が実施していました。



**Q. 水に関わることで知っていること、経験のあることは？ (6択/複数回答)**

◇約4割が自分の使う水がどこから来ているのかわからない

1位の『利水・水道施設を見学したことがある』(60.9%)、2位の『使っている水の水源地を知っている』53.4%が半数を超えました。とはいえ、水は日常生活の中で1日も欠かすことができないもの。約4割が自分が使っている水がどこから来ているのかわからないというのは、必ずしも高い認知率とはいえないのではないのでしょうか。



**Q. もっともおいしい水が飲めると思う都道府県と国は？ (自由回答)**

◇もっともおいしい水が飲める都道府県は7年連続で『長野県』

おいしい水が飲める都道府県のトップは7年連続で『長野県』(27.3%)、国は同じく7年連続で『日本』(56.4%)でした。

もっともおいしい水が飲める都道府県ベスト3 (01年/居住地別) [単位: %]

	全 体	東京圏	大阪圏	中京圏
1	長野県 27.3	長野県 24.6	長野県 38.9	長野県 31.0
2	北海道 16.5	北海道 17.2	北海道 19.0	北海道 12.4
3	静岡県 7.1	山梨県 8.2	静岡県 6.6	岐阜県 11.5

もっともおいしい水が飲める都道府県ベスト5 (過去の推移、96年・97年は省略)

[単位: %]

	01年	00年	99年	98年	95年
1	長野県 27.3	長野県 27.4	長野県 25.9	長野県 24.6	長野県 26.6
2	北海道 16.5	北海道 17.8	北海道 16.9	北海道 18.9	北海道 16.7
3	静岡県 7.1	山梨県 6.1	静岡県 6.9	静岡県 6.9	静岡県 6.4
4	山梨県 6.7	静岡県 5.9	岐阜県 6.3	岐阜県 5.4	愛知県 5.6
5	富山県/岐阜県 3.6	岐阜県 5.7	山梨県 5.1	山梨県 5.0	岐阜県 4.3

もっともおいしい水が飲める国ベスト3 (過去の推移、96年・97年は省略)

[単位: %]

	01年	00年	99年	98年	95年
1	日本 56.4	日本 55.7	日本 54.9	日本 53.8	日本 55.9
2	スイス 26.6	スイス 28.0	スイス 29.2	スイス 29.1	スイス 26.6
3	カナダ 5.6	カナダ 5.2	カナダ 5.1	カナダ 6.3	カナダ 6.4

**Q. 日本でもっとも自然が残っていると思う川は？（自由回答）**

◇5年連続で『四万十川』（46.4%）が圧倒的にトップ、2位以下は10%に達せず

トップは5年連続で『四万十川』でした。2位も5年連続で『長良川』でしたが、10%には達しませんでした。

**もっとも自然が残っていると思う川トップ5（全体／過去の推移）**

[単位：%]

	01年		00年		99年		98年		97年	
1	四万十川	46.4	四万十川	51.5	四万十川	48.6	四万十川	48.5	四万十川	42.1
2	長良川	6.4	長良川	4.6	長良川	6.1	長良川	6.3	長良川	5.3
3	最上川	4.7	信濃川	4.3	信濃川	4.3	信濃川	5.0	石狩川	4.5
4	木曾川	4.3	木曾川	3.5	石狩川	4.1	最上川	4.4	信濃川	4.3
5	信濃川	3.6	最上川 利根川 石狩川	2.6	最上川	3.5	木曾川	3.8	最上川	4.1